

令和2年度経済学部授業科目の成績評価方法について（S1, S1S2, S2開講）

※1 成績評価方法【①】は、現時点のもの。 ※2 定期試験を行う科目は、現時点において、経済学部が主開講となる科目で経済学部試験期間に対面による定期試験を行うもの。（○及び黄色網掛）

※3 成績評価方法【②】は、対面による定期試験が不可能となった場合のもの。 【対面による定期試験を行うかどうかについては、令和2年7月上旬頃までに決定の上、別途周知を行う予定。】

※合併（大学院）は、経済学研究科との合併科目であることを表す。

通番	合併（大学院）	合併（その他）	区分（経済学部）	時間割コード	開講科目名	学期	担当教員	成績評価方法【①】（現時点のもの）	定期試験を行う科目（経済学部主開講）	成績評価方法【②】（対面による定期試験が不可能となった場合のもの）
1			専門	0701302-02	ゲーム理論	S1	尾山大輔	試験	○	Take home exam
2			専門	0701401-02	経済史Ⅱ	S1	小野塚知二	学期末の定期試験およびレポートにより評価する。	○	(1)答案2つ(50点×2)のほか、(2)期末試験期間内までに提出されたレポートには25点を上限として加点する。 (1)期末試験答案(50点×2) ①講義(および教科書)の内容に深く関わる課題を各自設定し、②その課題が経済史学(経済学および歴史学、広くは人文社会科学)にとって有する意義を説明した上で、③課題に対して実証的で論理的な解答を与え、④解答では展開しきれなかった残された論点の所在も明らかにする。⑤①～④を概ね2000～4000字程度の文章にまとめ、A4判横組みのPDFファイルにして、試験期間終了時までの適宜の時点で提出する(S1講義期間中から随時受け付ける)。⑥課題設定と課題の意義の説明も採点対象となる。⑦その他書式や形式については、(2)のレポートに準ずる。 (2)レポート(25点、提出任意) ①講義(および教科書)の内容に何らかの仕方に関わり、自分でもこれまで関心を持ってきたテーマについて課題を設定し、②別紙「レポートの書き方」にしたがって、3000～6000字程度のレポートを作成して提出することができる。 ※結果的に、対面による定期試験を行うこととなった場合、すでに提出されている「答案」は、期末試験の答案としては扱わずに、任意のレポートとして加点対象にする。
3			専門	0702105-01	数理統計Ⅰ	S1	入江薫	レポート(40%, 七月末提出)と期末試験	○	レポート1回(40点, 7月末提出) ITC-LMS上での期末試験(60点、制限時間2時間程度、システムダウンの可能性を考慮して、試験問題を教員ウェブサイトにもアップロードし、システム上での受験が難しい場合にはメールでの答案提出も許可する。)
4	大学院		専門	0702202-01	財政Ⅰ	S1	別所俊一郎	定期試験60%、小テスト40%	○	ITC-LMSを用いた小テスト(40%) (当初予定通り) Take-home examに近いレポート課題(60%)
5		法学部	専門	0702203-01	金融Ⅰ	S1	福田慎一	期末試験および宿題の提出による	○	講義期間中および講義終了後の宿題およびレポートによって評価する
6			専門	0702204-01	産業組織Ⅰ	S1	佐々木弾	Our final examination shall be entirely open book, you are allowed to consult any material. We shall not test your memory because once you graduate, you shall hardly ever again be tested on your memory throughout your professional careers.	○	6月上～中旬を目途に出題し、試験期間までに答案回収。可能な限りgoogleformsかITC-LMS等から回答をまとめてExcel表に落とせる形で回収し、数値的に採点。
7		法学部	専門	0702208-01	国際経済Ⅰ (0702211: 国際貿易)	S1	古澤泰治	期末試験の結果のみから成績評価を行う。	○	ほぼ通常の試験をITC-LMS上で行う。アクセスが殺到しないよう、朝早くにアップし、午前中いっぱい試験時間とする。
8			専門	0702403-01	近代日本経済史Ⅰ	S1	谷本雅之	定期試験による。小テストを行う場合がある。	○	ITC-LMSを使ったテスト、およびレポート提出
9			専門	0703305-01	経営史Ⅰ	S1	山本浩司	課題提出・アクティブ・ラーニングの評価・筆記試験	○	課題(レポート)を課すことにする予定。
10			専門	0703307-01	マーケティングⅠ	S1	阿部誠	期末試験、出席。	○	ITC-LMSを利用した小テスト
11			専門	0703309-01	財務会計Ⅰ	S1	米山正樹	期末試験を中心に評価する。	○	提出されたレポート課題によって評価する。
12			専門	0703310-01	管理会計Ⅰ	S1	首藤昭信	期末試験を中心に評価する。	○	レポートによる評価 ※ITC-LMSによるオンラインでの試験を実施する可能性もある。

●上表は、令和2年6月1日現在のもの。今後、担当教員等から別途アナウンス等指示がある場合には、そちらを優先すること。

令和2年度経済学部授業科目の成績評価方法について (S1, S1S2, S2開講)

※1 成績評価方法【①】は、現時点のもの。 ※2 定期試験を行う科目は、現時点において、経済学部が主開講となる科目で経済学部試験期間に対面による定期試験を行うもの。(○及び黄色網掛)

※3 成績評価方法【②】は、対面による定期試験が不可能となった場合のもの。 【対面による定期試験を行うかどうかについては、令和2年7月上旬頃までに決定の上、別途周知を行う予定。】

通番	合併(大学院)	合併(その他)	区分(経済学部)	時間割コード	開講科目名	学期	担当教員	成績評価方法【①】(現時点のもの)	定期試験を行う科目(経済学部主開講)	成績評価方法【②】(対面による定期試験が不可能となった場合のもの)
13			専門	0703316	ICTマネジメント I	S1	高井文子	定期試験のほか、授業内で行う小テスト等(エクササイズ)により評価する。評価の比率は、小テスト・レポート等(30%)・期末試験(70%)である。	○	期末レポート(ITC-LMSによる課題指示、提出)ならびに、これまで実施したエクササイズ、中間テストによる成績評価を行う。
14			専門	0703317	フード・システム I	S1	矢坂雅充	定期試験。講義中にレポートの提出を求めることがある。	○	レポート
15	大学院		選択	0704041	上級日本経済史 I	S1	小島庸平	レポートによる。		
16	大学院		選択	0704056-01	上級計量経済学 I	S1	下津克己	homework 20%; final exam 80%.	○	ITC-LMSを用いて、レポートを提出させて評価する。レポートは、出題提出から提出締切までの時間を短くすることで、持ち込み可の試験に近いものとして運用する。
17	大学院		選択	0704071	経営管理 II	S1	高橋伸夫	次の(1)~(3)から総合的に評価する。 (1)毎回、Zoomのチャット等ととっている出席状況 (2)8回程度実施予定のITC-LMSのオンライン小テスト (3)最終回5月22日(金)に実施予定のITC-LMSのオンライン大テスト このうち、(3)のオンライン大テストを受験しなければ「未受験」として扱う。		
18	大学院		選択	0704074	経営戦略 II	S1	新宅純二郎	ほぼ毎回、レポートや小テストを実施し、その結果で評価する。		
19			選択	0704122	文科系のための線形代数・解析 I	S1	藤堂・松尾・藤原	レポートによる		
20	大学院		選択	0704162-01	上級数理統計 I	S1	久保川達也	レポートと試験結果で評価します。レポート提出と試験は単位取得に必須です。レポートは毎週提出になり、試験は、最後の講義のときに行います。(Reports (every week) and examination which will be implemented at the final lecture)		
21			専門	0704311-01	国際経営 I	S1	大木清弘	最終試験のみの予定だが、必要に応じてレポート提出を求める。	○	ITC-LMSなどのシステムを用いたオンライン試験(出題から回答までの時間が短く設定されたtake home exam)
22	大学院	公共	選択	0705023	金融政策	S1	青木浩介	期末試験(examination)	○	レポート
23	大学院		選択	0705702	数学 II	S1	尾山大輔	Written exam	○	Take home exam
24	大学院		選択	0704012-01	上級ミクロ経済学 I	S1S2	松井彰彦	Midterm and Final Exams	○	宿題(10%) 通常の試験をAタームに行う(90%)
25	大学院		選択	0704013-01	上級マクロ経済学 I	S1S2	青木浩介	中間試験と期末試験。中間試験の実施方法は検討中midterm and final examinations. Details of the midterm exam will be announced in due course.	○	後日通知
26	大学院		専門	0704015	経済学のための数学	S1S2	松井彰彦	Midterm and Final Exams	○	宿題(10%) Take home exam(90%)
27	大学院		選択	0704033	経営管理特論	S1S2	新宅・高橋・稲水・大木	報告、出席、平常点。		
28	大学院		選択	0704042	上級西洋経済史 I	S1S2	小野塚知二	授業への参加状況(出席、発言、発表)		

●上表は、令和2年6月1日現在のもの。今後、担当教員等から別途アナウンス等指示がある場合には、そちらを優先すること。

令和2年度経済学部授業科目の成績評価方法について（S1, S1S2, S2開講）

※1 成績評価方法【①】は、現時点のもの。 ※2 定期試験を行う科目は、現時点において、経済学部が主開講となる科目で経済学部試験期間に対面による定期試験を行うもの。（○及び黄色網掛）

※3 成績評価方法【②】は、対面による定期試験が不可能となった場合のもの。 【対面による定期試験を行うかどうかについては、令和2年7月上旬頃までに決定の上、別途周知を行う予定。】

通番	合併(大学院)	合併(その他)	区分(経済学部)	時間割コード	開講科目名	学期	担当教員	成績評価方法【①】(現時点のもの)	定期試験を行う科目(経済学部主開講)	成績評価方法【②】(対面による定期試験が不可能となった場合のもの)
29	大学院	人文系	選択	0704081	上級日本経済史Ⅱ	S1S2	中村尚史	平常点(50%)とレポート(50%)の併用。レポート課題は授業の最後に指示する。		
30	大学院		選択	0704082	上級アジア経済史	S1S2	城山智子	平常点とレポートによる。		
31			選択	0704120	I Tと産業界	S1S2	國本衛	受講態度(ITC-LMS出席管理)およびレポートによって評価します。		
32			選択	0704152	経済統計	S1S2	長谷川秀司	レポートによる(講義4~5回分毎に3回を予定)。		
33			選択	0704153	人口統計	S1S2	金子隆一	出席状況・期末レポート/Attendance and term paper		
34	大学院		選択	0704170	Empirical analysis of dynamic macroeconomic models	S1S2	新谷元嗣	Grading is based on attendance,presentation and a term paper.		
35	大学院		選択	0704252	上級世界経済Ⅰ	S1S2	丸川・小野塚・野原	レポートと出席状況による		
36	大学院	公共	選択	0704254	Data Science for Practical Economic Research	S1S2	Kucheryavyy Konstantin	Grade will consists of four parts: (1) homeworks; (2) midterm; (3) final exam.Homeworks will address practical aspects of machine learning methods. Midterm and final exam will address theoretical aspects of machine learning methods.	○	Home Assignments: 100%
37			選択	0704501	経済データ分析	S1S2	大森裕浩	期末試験による(100%)。	○	レポートによる
38	大学院		専門	0704703-01	保険数理Ⅰ	S1S2	森本祐司	試験60%、授業中の小テスト等40%	○	期末レポートの実施(数値計算問題はランダムな問題を出すことを想定)
39	大学院	公共	選択	0705022-01	Financial SystemⅠ(金融システム論Ⅰ)	S1S2	星岳雄	The grade for this course will be determined by: (1) Two take-home exams ---- 80% (40% each). The first take-home will be posted on ITC-LMS on 5/18 and due on 5/25. The second take-home will be posted on 7/6 and due on 7/13. (2) Class participation ---- 20%. Participation in discussion in class and in forums on ITC-LMS.		
40	大学院		専門	0705503	デリバティブ	S1S2	藤井優成	期末試験	○	試験に近い形式の問題を中心としたレポートを課し、半日から丸一日程度の提出期限内にITC-LMSにアップロードしてもらおう。形式(手書きの写真やTeX打ち等)は問わない。事前に軽めの宿題を課す可能性がある。この場合は、比率は小さいものの成績に算入する。
41	大学院		選択	0705562	保険数理Ⅱ	S1S2	岩沢宏和	講義中の小テスト(回数未定)		
42	大学院		選択	0705565	上級デリバティブ演習Ⅰ	S1S2	藤井優成	宿題の提出状況及びその点数。		
43	大学院		選択	0705570	数量ファイナンスⅠ	S1S2	萱場豊	宿題、平常点、クイズ、期末試験	○	take home examという形で、一定の時間内で答案を提出させる。
44	大学院		選択	0705577	アクチュアリーワークショップⅠ	S1S2	岩沢宏和	出席、発表などを総合的に評価する。		
45	大学院		選択	0705579	ファイナンスのための確率Ⅰ	S1S2	齋藤大河	レポートにより評価する。		
46	大学院		選択	0705580	アセット・マネジメント	S1S2	山内英貴	レポート・課題等提出物70%、授業への参加状況30%		

●上表は、令和2年6月1日現在のもの。今後、担当教員等から別途アナウンス等指示がある場合には、そちらを優先すること。

令和2年度経済学部授業科目の成績評価方法について (S1, S1S2, S2開講)

※1 成績評価方法【①】は、現時点のもの。 ※2 定期試験を行う科目は、現時点において、経済学部が主開講となる科目で経済学部試験期間に対面による定期試験を行うもの。(○及び黄色網掛)

※3 成績評価方法【②】は、対面による定期試験が不可能となった場合のもの。 【対面による定期試験を行うかどうかについては、令和2年7月上旬頃までに決定の上、別途周知を行う予定。】

通番	合併(大学院)	合併(その他)	区分(経済学部)	時間割コード	開講科目名	学期	担当教員	成績評価方法【①】(現時点のもの)	定期試験を行う科目(経済学部主開講)	成績評価方法【②】(対面による定期試験が不可能となった場合のもの)
47	大学院		選択	0705701	数学 I	S1S2	入江薫	ほぼ毎週出題する宿題、中間試験および期末試験。詳細については初回の講義で確認する。	○	レポート2回(すでに宣言しているが、配点を40点に変更) ITC-LMS上での期末試験
48			専門	0702201-01	日本経済 I	S2	星岳雄	期末試験。練習問題の宿題。クラス内での不定期のクイズ。	○	学期中二つの持ち帰り試験(ITC-LMSで出題、回収)と数回の抜き打ちのクイズ(ITC-LMSを用いて)による。
49			専門	0702209-01	開発経済 I	S2	澤田康幸	抜き打ちテストと定期試験(予定)	○	レポート課題の提出という形式で代替する。
50			専門	0703321	経営管理 I	S2	高橋伸夫	定期試験	○	次の(1)~(3)から総合的に評価する。 (1)毎回、Zoomのチャット等ととっている出席状況 (2)8回程度実施予定のITC-LMSのオンライン小テスト (3)最終回に実施予定のITC-LMSのオンライン大テスト このうち、(3)のオンライン大テストを受験しなければ「未受験」として扱う。
51	大学院		選択	0704056-02	上級計量経済学 II	S2	市村英彦	problem sets 25%; final exam 75%.	○	後日通知
52	大学院	公共・総合文化	選択	0704068	上級開発経済	S2	澤田康幸	Homework and Final Exam	○	レポート課題の提出という形式で代替する。
53	大学院		選択	0704072	フード・システム II	S2	矢坂雅充	定期試験。講義中にレポートの提出を求めることがある。	○	レポート
54	大学院		選択	0704076	経営史 II	S2	山本浩司	課題提出・アクティブ・ラーニングの評価・筆記試験	○	課題(レポート)を課すことにする予定です。
55	大学院		選択	0704078	マーケティング II	S2	阿部誠	宿題、グループ発表、コンピューター・エクササイズ。期末試験は行わない。		
56			選択	0704118	数理統計 II	S2	入江薫	レポート(40%, 七月末提出)と期末試験	○	レポート1回(40点, 7月末提出) ITC-LMS上での期末試験(60点、制限時間2時間程度、システムダウンの可能性を考慮して、試験問題を教員ウェブサイトにもアップロードし、システム上での受験が難しい場合にはメールでの答案提出も許可する。)
57			選択	0704123	文科系のための線形代数・解析 II	S2	藤堂・松尾・藤原	レポートによる		
58	大学院		選択	0704162-02	上級数理統計 II	S2	久保川達也	レポートと試験結果で評価します。レポート提出と試験は単位取得に必須です。レポートは毎週提出になり、試験は、最後の講義のときに行います。(Reports (every week) and examination which will be implemented at the final lecture)		
59	大学院		選択	0704233	財政 II	S2	林正義	定期試験100%	○	出席およびレポート(take home examとして出題から解答まで数日で終わらせるものを想定)
60		法学部	選択	0704234	金融 II	S2	福田・田中	期末試験および宿題の提出による	○	講義期間中および講義終了後の宿題およびレポートによって評価する
61			選択	0704235	産業組織 II	S2	若森直樹	評価は以下の3つを総合して行う (1)授業時間内の出欠、発言など (2)3回~4回程度の実証分析課題 (3)最終レポート(実証分析を含んだレポート)		
62		法学部	選択	0704238	国際経済 II	S2	西岡修一郎	期末試験の結果のみから成績評価を行う。	○	Take-home exam

●上表は、令和2年6月1日現在のもの。今後、担当教員等から別途アナウンス等指示がある場合には、そちらを優先すること。

令和2年度経済学部授業科目の成績評価方法について（S1, S1S2, S2開講）

※1 成績評価方法【①】は、現時点のもの。 ※2 定期試験を行う科目は、現時点において、経済学部が主開講となる科目で経済学部試験期間に対面による定期試験を行うもの。（○及び黄色網掛）

※3 成績評価方法【②】は、対面による定期試験が不可能となった場合のもの。 【対面による定期試験を行うかどうかについては、令和2年7月上旬頃までに決定の上、別途周知を行う予定。】

通番	合併（大学院）	合併（その他）	区分（経済学部）	時間割コード	開講科目名	学期	担当教員	成績評価方法【①】（現時点のもの）	定期試験を行う科目（経済学部主開講）	成績評価方法【②】（対面による定期試験が不可能となった場合のもの）
63	大学院		選択	0704352	グローバル・ベンチャリングII	S2	中野剛治	毎回の講義開始前までに提出する輪読レジュメ(計60点)と、授業内での発表・発言ならびにリフレクションペーパー(ネットにて提出)(計40点)にて評価する。ただし、受講生が多数の場合は初回講義にて別途指示する。		
64			選択	0704422	近代日本経済史II	S2	谷本雅之	定期試験による。小テストを行う場合がある。	○	ITC-LMSを使ったテスト、およびレポート提出
65	大学院		選択	0705031	国際経営II	S2	大木清弘	出席点(40点) 数回のレポート(60点、ゲストスピーカーの報告へのレポートおよび教員からの課題が3~4回を予定)		
66	大学院		選択	0705568	財務会計II	S2	米山正樹	期末試験を中心に評価する。	○	提出されたレポート課題によって評価する。 ※履修登録者数により、別の方法を検討する可能性もある。
67	大学院		選択	0705569	管理会計II	S2	首藤昭信	定期試験を中心に評価する。	○	レポートによる評価 ※ITC-LMSによるオンラインでの試験を実施する可能性もある。

※上表の科目について、9月に開講予定の集中講義は除く。

<公共政策大学院が主開講となる科目>

68	大学院	公共	選択 主開講(公共)	0704110	中央銀行論	S1S2	関根敏隆	最新の情報をUTASログイン後のシラバスで確認すること。(今後、UTASのシラバスの記載内容が変更になる可能性がある。)		
69		公共	選択 主開講(公共)	0704222	エネルギー政策	S1S2	小山・有馬			
70		公共	選択 主開講(公共)	0704241	再生可能エネルギーと公共政策	S1S2	有馬純			
71		公共	選択 主開講(公共)	0704242	金融市場と公共政策	S1S2	湯山智教			
72		公共・法学部	選択 主開講(公共)	0704243	Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy	S1S2	高原明生			
73		公共	選択 主開講(公共)	0704244	日本の財政金融政策	S1S2	小川・仲			

<法学部が主開講となる科目>

74		法学部	選択 主開講(法)	0705704	民法(2)	S1S2	沖野真己	現在UTASのシラバス上において「定期試験による」などと表記があるが、現在法学部において今semester開講科目の成績評価方法について検討を行っている。今後、これらの科目について新たな成績評価方法を周知する予定ですので、法学部のホームページで確認すること。		
75		法学部	選択 主開講(法)	0705705	行政法	S1S2	太田匡彦			
76		法学部	選択 主開講(法)	0705707	商法(1)	S1S2	飯田秀総			
77		法学部	選択 主開講(法)	0705708	商法(2)	S1S2	藤田友敬			
78		法学部	選択 主開講(法)	0705712	日本政治史	S1S2	五百旗頭薫			
79		法学部	選択 主開講(法)	0705713	日本政治	S1S2	境家史郎			

●上表は、令和2年6月1日現在のもの。今後、担当教員等から別途アナウンス等指示がある場合には、そちらを優先すること。